



富山市立速星小学校

学校だより

令和6年5月15日発行



E-mail hayahoshisho@city.toyama.lg.jp

子供の主体性を育む

教務主任 金田 善広

風薫る季節となり、学習や体を動かすのに心地のよい季節です。先月行われた学習参観には、PTA総会や学年懇談会にも多くの保護者の皆様にお越しいただきました。

新年度が始まって1か月、速星っ子たちは新しい学年、友達にも慣れ、学習や運動に元氣いっぱい取り組んでいます。

さて、本校では今年度、「子供の主体性を育む授業づくり」に重点を置いて、教育活動を進めていきます。全学年で教科の学習を通して、子供が主体的に学ぶ姿を目指した単元(学習のまとまり)の展開を行っていきます。その取り組みのひとつが、4・5・6年生がクラブ活動、総合的な学習の時間の時間を活用して取り組んでいる「プロジェクト学習」です。プロジェクトは大きく「運動」、「創造」、「音楽」の3つの分野に分かれています。例えば、「運動」分野は、バスケットボール、陸上、ダンス等のプロジェクトに分かれています。子供たちは所属するプロジェクトを自分で決めて取り組み始めています。従来のクラブ活動との大きな違いは、活動内容や目標を子供自らが計画し、実践していくことです。時には、計画や目標の見直しを図りながら、「自分はこのプロジェクトで何を成し遂げたいのか、そのために何を行動するのか」を自らに問い続けて年間30回取り組んでいきます。先日、調理・農園プロジェクトの子供がこれから育てるキュウリの苗を大事そうに抱え、今後自ら畑の土を耕す姿を見ました。

他のプロジェクトにおいても、子供が自己決定し、目的意識をもって学習に臨む姿はとても生き生きしています。子供たちの輝く姿が多く生まれることを願いながら、教育活動を進めていきます。子供が主体的に学ぶ姿は一朝一夕に育まれるものではありません。そのため、今はまだ目に見えた成果を感じられないと思いますが、子供たちの成長を見守って欲しいと思います。



学習ボランティア・支援サポーターを募集します！

本校の学校運営協議会制度（通称「コミュニティ・スクール」「ＣＳ」）がスタートして４年目、４月２５日（金）に行われた第１回委員会では、「地域に開かれたみんなの学校」を目指して、今年度もいろいろな方々のご協力を得ながら進める学校づくりの方向性を確認しました。

現在、校内サポートルーム等での子供の見守り、野菜作りや学習補助、登下校時や地区探検の際の見守り、おやじの会やお話の会（読み聞かせ）の活動などでご協力をいただいておりますが、さらにサポーターの輪が広がるよう願っています。

年齢や教員免許の有無は問いません。ご協力は１時間からでも歓迎します。ぜひ、お力をお貸しください。よろしくお願いいたします。

（連絡先：速星小学校 ４６６－２０３１（担当）教頭 石倉、SSS 井上・佐々）

いじめ防止基本方針について

本校では、「いじめ防止対策推進法」に基づき、いじめに対する構えやいじめ防止の取組、いじめ確認時の対応等を「いじめ防止基本方針」として策定しています。子供たちが、安心して通える学校・学級づくりに取り組む中で、子供の小さな変化や悩みも早期発見し、早期対応を心がけるとともに、子供たちにも「ＳＯＳの出し方」教育を行い、未然防止、対策に努めていきます。そして、絶対にいじめは許さない学校を保護者や地域の皆様と共に目指します。なお「いじめ防止基本方針」は、ホームページ及びスタープランに掲載しておりますのでお読みください。

今後の主な行事予定